

貧酸素水塊速報 (2006年)

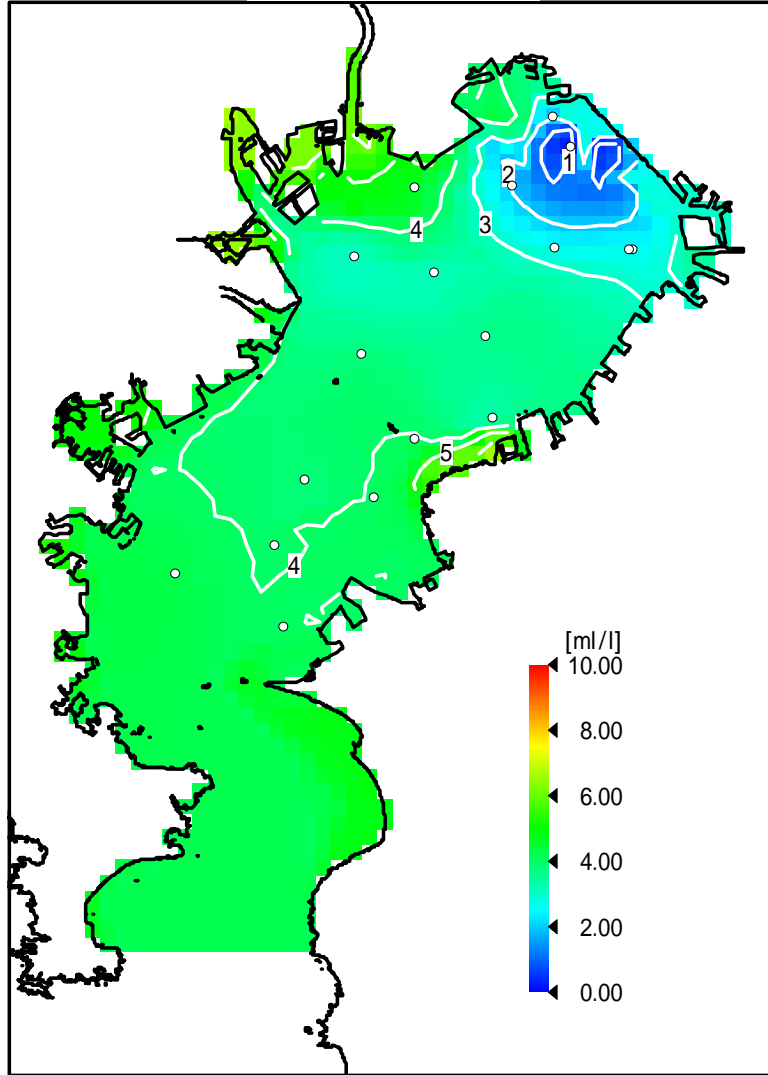
千葉県水産総合研究センター(編集)
 神奈川県水産技術センター
 内湾底びき網研究会連合会(千葉県)

協力:海上保安庁海洋情報部
 協力:千葉県環境研究センター
 協力:東京都環境局
 協力:第三管区海上保安本部

週末に吹いていた強い北よりの風のため、貧酸素水塊は内湾北部に移動し、分布範囲も狭くなっています。

北部は赤潮気味で、主なプランクトンは珪藻のニッチア (*Nitzschia pungens*) , コスキノディスカス (*Coscinodiscus* sp.) , タラシオシーラ (*Thalassiosira* sp.) でした。

2006年10月16日: 溶存酸素



底層の溶存酸素量分布 (m///:速報値)
 平成18年10月16日観測分

「東京湾貧酸素水塊予測システム」も運用しています。水産総合研究センターのホームページからご覧ください。携帯電話は<http://www.awa.or.jp/home/cbsuishi/cbmobile.html>からどうぞ

酸素飽和度と溶存酸素量の目安

酸素飽和度	溶存酸素量	備考
50%	2.5m//	貧酸素水
30~40%	2.0m//	魚類に影響
	1.5m//	貝類危険
	1.0m//	
10%	0.5m//	